

中級 UNIT3 第三文型 第四文型

第3文型 S+V+O

主語＋述語＋目的語の文型です。

第3文型は、主語、動詞、目的語からなる文です。どのようなものがあるかというと

He plays soccer. 彼はサッカーをします。

S V O

目的語は動詞の後ろに置かれ、動作(V)の目的を表します。

日本語で言う「何(誰)を」で、名詞や代名詞が当てはまります。

SはOをVすると訳せたら第3文型とっていいでしょう。

第1文型と同じように、S+V+Oだけではなく、修飾語Mを加えて S+V+O+Mという形をとっている場合もありますので、その点は要注意です。

We played soccer yesterday. 私たちは昨日、サッカーをしました。

のような文章の場合、yesterday は修飾語になります。

第3文型をかたどる動詞

第3文型に該当する動詞はたくさんあります。

enjoy(～を楽しむ)、have(～を持っている)、buy(～を買う)など、挙げ始めたらキリがありません。ですので、先程も述べたようにSはOをVすると訳せたら第3文型と認識できるようにしておきましょう。

第4文型 S+V+O+O

主語＋述語＋目的語＋目的語の文型です。

第4文型は、主語、動詞、そして2つの目的語からなる文です。どのようなものがあるかというと

I gave her a ring. 彼女にリングをプレゼントした。

S V O O

この文章は、gave(give の過去形)が2つの目的語をとります。

1つ目が彼女にあげた、2つ目が指輪をあげたです。

第3文型の場合はSはOをVするでしたが、第4文型の場合は、SはOにOをVするとなります。文法的に言うと、I gave her a ring の文章で、「her」を間接目的語、「a ring」を直接目的語と言います。

I gave a ring.だと意味が通りますが、I gave her.だと「彼女に何をあげたの?」「え、彼女をあげたの?」と、ちょっと考えますものね。ですので「her」が間接目的語、「a ring」が直接目的語です。

第4文型は第3文型に変化する

give、buy、teach のような動詞が使われている場合、第4文型から第3文型に書き換えることができます。

I gave her a ring. ⇒ I gave a ring to her.

2つの文章は全く同じ意味ですが、前者は第4文型、後者は第3文型です。

前者が第4文型はこれまでに説明してきた通りですので、後者をみてみましょう。

第3文型について思い出してみてください。

第3文型は、S+V+Oの形をとり、SはOをVすると訳せるんでしたね。

I gave a ring to her.

S V O

この文章は「私は、リングを、あげる」と訳せ、第3文型の要素は十分に持ちあわせています。

では最後の「to her」はどうなるのか? 目的語ではなくなるのか? ということですが結論から言えば、文法的には「前置詞(to)+O(her)」は修飾語Mになります。

第3文型のテキストで、第3文型は、S+V+O+Mとなる場合もあると書きましたね。まさにこれが該当します。

よくテストに出てくるのが次のような問題です。

次の文章を第3文型から第4文型に書き換えなさい

・I buy a toy for my son. ⇒ I buy my son a toy.

次の文章を第4文型から第3文型に書き換えなさい

I teach her English ⇒ I teach English to her

このような感じですよ。

よくみなさんが悩むのが、「buy for」、「teach to」などの前置詞はどうやってきまるの??という箇所です。これには to をとるタイプと for をとるタイプ、そして例外がありますが、1つ1つ出てきた動詞でどうなるのかを覚えるしかありません。

いくつも問題を解いたり音読を重ねていると、感覚でわかるようになってきますので、その境地に達するまでは、こつこつと、考えずに覚えて行きましょう。